報道関係各位

2026 年 11 月 25 日
一般財団法人 ASAGI Labs

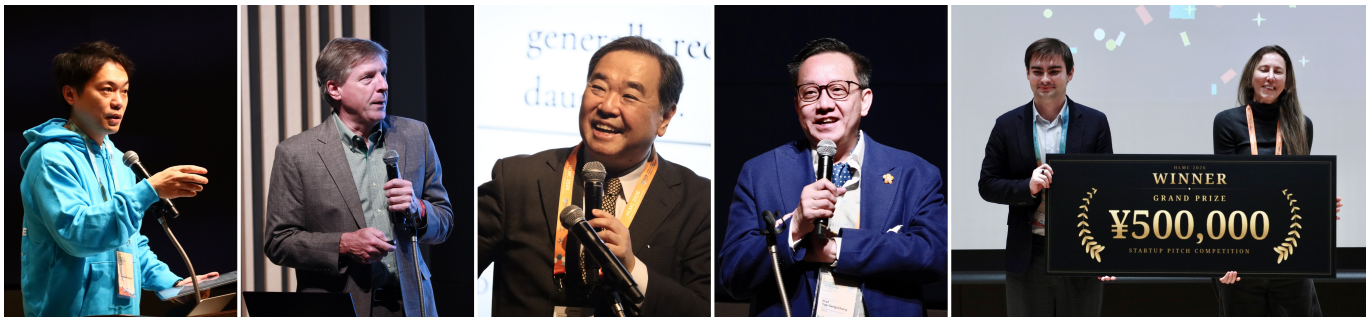
ASAGI Labs×シンガポール国立大学（NUS）
最先端のロンジェビティ研究と日本古来の「養生」をつなぐ
国際学会「HLMC 2026」を東京で開催

～2027 年も HLMC を含め国際ロンジェビティ学会やイベントを開催予定、
連携に関心のある個人・企業・自治体を募集～

一般財団法人 ASAGI Labs（代表理事：早野 元詞）は、シンガポール国立大学医学部 Healthy Longevity Translational Research Programme（NUS Medicine HLTRP）、SAKRA、SARA と共同で、国際学会「Healthy Longevity and Medicine Conference 2026（HLMC 2026）」を、2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）の 3 日間、順天堂大学 小川講堂（東京都文京区本郷）にて開催しました。国内外から研究者・学生・企業・スタートアップ・投資家・政策関係者など約 350 名が参加しました。

2025 年の NUS での初開催に続く第 2 回となった今回は、「Quantifying Aging: AI and Aging Clocks in Precision Health」をテーマに、AI や Aging Clock（老化時計）などの最先端のロンジェビティ研究とその社会実装、そして『養生訓』に代表される日本古来の健康長寿の知恵を一つの場で結びました。3 日間にわたる講演・セッション・ピッチを通じて、日本とシンガポールを軸にアジアの研究者・企業・スタートアップをつなぐ国際ネットワークが一層広がりました。

・ 公式ウェブサイト：https://www.hlmconference.com/



写真（左から）：早野 元詞（ASAGI Labs 代表理事）/ Brian Kennedy 教授（NUS）/ 徳川家広氏（徳川宗家第 19 代当主・徳川記念財団理事長）/ Chong Yap Seng 教授（NUS 医学部長）/ Startup Showcase グランプリ受賞 HALOS Biosciences, Inc.

■ HLMC 2026 開催報告：3 つのハイライト

① 最先端のロンジェビティ研究 – 国内外トップ研究者による基調講演

阿部 高明 教授（東北大学）、須田 年生 教授（中国医学科学院・北京協和医学院）、Dean Ho 教授（NUS）、Chong Yap Seng 教授（NUS 医学部長）が基調講演を行ったほか、岡野 栄之 教授（慶應義塾大

学）、Brian Kennedy 教授（NUS）による特別講演が行われました。代謝、老化制御、幹細胞・エピジェネティクス、老化の多様性・予測、免疫などの各セッションでは、日本、シンガポール、中国、韓国、オランダなどの研究者が最新成果を発表し、AI や Aging Clock による老化の定量化と、その精密医療への応用について活発な議論が交わされました。

② 日本古来の知恵 – 徳川家広氏による講演「The Art of Health and Happiness: Learning from Shogun Tokugawa Ieyasu」（11 月 18 日（水）15:00～16:00）

徳川宗家第 19 代当主・徳川記念財団理事長の徳川家広氏が、江戸幕府を開き、二百五十年を超える平和の礎を築いた徳川家康公を中心に、歴代将軍らの生涯をたどりながら、当時の人々にとって健康や長寿が何を意味したのか、医療はどこまで力になり得たのかを考えました。家康公に象徴される「身を養う」ことへの関心は、やがて江戸の社会全体へと広がり、その流れの先に、1713 年に貝原益軒が著した『養生訓』があります。食の節度、運動、休養、心の平穏を説く養生の知恵は、現代の老化研究が検証を進めているテーマとも重なります。老化を「測る」最先端科学と、健康を「養う」日本の伝統を結び、長く生きること、よく生きることとは何かを、個人として、そして社会の一員として考える講演となりました。

③ 社会実装 – 3 日目「Startup Showcase」でスタートアップ 10 社がピッチ（11 月 20 日）

日本発および海外発のロンジェビティ・スタートアップ 10 社が、Aging Clock による老化の可視化、腸内フローラ解析、アルツハイマー病の診断・治療、器官再生、次世代食品素材などの事業を発表しました。審査の結果、HALOS Biosciences, Inc.がグランプリ（賞金 50 万円）を受賞しました。また、Heartseed 株式会社 取締役 COO 安井 季久央氏による招待講演や、ASAGI Labs Ventures、NUSX BLOCK71 Japan、博報堂 DY ホールディングス、デロイト トーマツ、GlobalDeal の登壇者によるパネルディスカッションも行われ、研究成果の事業化と社会実装に向けた道筋が議論されました。

■ ASAGI Labs と NUS の連携

HLMC は、ASAGI Labs と NUS Medicine HLTRP の連携のもと、日本とシンガポールを軸にアジアのロンジェビティ研究と産業をつなぐ国際プラットフォームとして立ち上げられました。今回も NUS から多数の研究者が登壇したほか、NUS の起業支援拠点 NUSX BLOCK71 Japan が参画し、研究成果の事業化・社会実装を両国から後押ししました。ASAGI Labs は今後も NUS との連携を深め、HLMC を通じた国際的な研究・産業ネットワークの拡大に取り組んでまいります。2027 年も HLMC を含め、国際ロンジェビティ学会やイベントを日本で開催する予定であり、詳細は決定次第、公式ウェブサイトにてお知らせします。

■ 代表理事コメント

「2 回目となる HLMC を東京で開催し、国内外から約 350 名の皆さまにご参加いただいたことに、心より感謝申し上げます。また、本会議の開催にあたりご協賛いただいた明治ホールディングス株式会社、森永製菓株式会社、フォーネスライフ株式会社、ロート製薬株式会社、株式会社博報堂 DY ホールディングス、日本イーライリリー株式会社、アムジエン株式会社、株式会社 Rhelixa の皆さま、ならびにサポーターとしてご支援いただいた東京理科大学、藤枝市、A3 日中韓フォーサイト事業、ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム、デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社の皆さまに、厚く御礼申し上げます。老化研究の大きな特徴は、異なる分野が交わることにあります。ヒドラやサメなど多様な生物種における老化の理解から、老化を測る技術、老化に介入する技術、そして医療において老化を理解することによる健康寿命の延伸まで、HLMC では幅広い分野の研究者が一堂に会し、活発な交流が生まれました。こうした基礎研究が互いに交わり、そこに医療や企業が関わっていくことで、老化研究は未来の社会に大きなインパクトを与えていくと期待しています。

また、日本におけるロンジェビティにとって、健康を『養う』という伝統は重要な価値です。私たち日本人自身が気づいていない、あるいは忘れてしまっている価値を再認識しながら、それを科学やイノベーションとつなげていくことが、日本のロンジェビティをグローバルに広げていくうえで重要だと考えています。

ASAGI Labs は今後、老化やロンジェビティに関する国際的なネットワークと、助成金を含めた支援の仕組みを構築し、研究と社会実装をさらに推進してまいります。ご支援いただく皆さまからのご寄付や、自治体・企業の皆さまとの連携にも大きな期待を寄せています。来年も HLMC を含め、国際ロンジェビティ学会やイベントを日本で開催する予定です。連携にご関心のある個人、企業、自治体等の皆さまからのご連絡を心よりお待ちしております。」（一般財団法人 ASAGI Labs 代表理事 早野 元詞）

■ 2027 年の開催とご連携・ご支援のお願い

ASAGI Labs は、2027 年も HLMC を含め、国際ロンジェビティ学会やイベントを日本で開催する予定です。共催・協賛・登壇などの形で連携にご関心のある個人、企業、自治体等の皆さま、ならびに研究と社会実装を支えるご寄付をご検討いただける皆さまは、下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

■ ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアムについて

ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム（英文名：ASAGI Labs Longevity Consortium）は、一般財団法人 ASAGI Labs が事務局を務める共創プラットフォームです。産官学金の多様なステークホルダーが連携し、全世代を対象としたロンジェビティ（健康寿命の延伸と持続可能な社会参加）の実現に向けて、研究

開発と新規事業の共創を推進しています。製薬、検査診断、食品、広告・マーケティング、不動産など幅広い分野の企業に加え、自治体も特別会員として参画しています。

入会方法

入会をご希望の方、または共創プロジェクトについてご相談のある方は、下記の事務局までメールでご連絡ください。会員種別や会費などの詳細は、事務局よりご案内いたします。

- お申し込み・お問い合わせ：info@asagilabs.or.jp（ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム事務局）
- コンソーシアムウェブサイト：https://www.asagiconsortium.com/

■ お問い合わせ先

一般財団法人 ASAGI Labs / ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム事務局
Web：https://asagilabs.or.jp/
E-mail：info@asagilabs.or.jp